令和7年度第1回
子ども・子育て会議

令和7年8月8日　午後7時から

市役所3階　33・34会議室

待機児童の状況と対策について

待機児童対策について

●待機児童の状況

表１　待機児童数の推移

	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	計
令和７年度	-	**21**	**6**	-	-	-	**27**
令和６年度	-	38	20	-	-	-	58
令和５年度	-	52	25	5	-	-	82
令和４年度	-	2	7	-	-	-	9
令和３年度	-	-	-	-	-	-	0

待機児童の早期解消に向け、ハード、ソフト両面から、あらゆる対策に取り組んできました。

特に令和6年度は、もりやま手当や新規採用保育士給付金、保育士保育料補助等のソフト面の充実や周知を行い保育士の確保や定着化を進め、児童受入可能数を伸ばすことで、待機児童数は昨年度より31人減少しました。しかしながら、特に低年齢児（1～2歳児）の保育ニーズは依然として高く、令和7年度は27人の待機児童が発生しています。

待機児童対策について

●ソフト事業（待機児童解消に向け、ソフト面で様々な対策を講じてきました。）

【保育士の処遇改善】 ※保育士に対して直接補助

実施項目	実施内容
①もりやま手当 （R6拡充）	守山市独自で保育士の給料への上乗せ支給（年間最大20万円） R5 ： 292人 ⇒ R6 ： 406人（+114人）
②新規採用保育士等臨時給付金（R5拡充）	1年勤務10万円3年勤務20万円、就労後1か月以内移住20万円、3年最大50万円 R5 ： 29人 ⇒ R6 ： 49人（+20人）
③保育士保育料半額補助 （R5～）	市内園で保育士の子に係る保育料の半額を補助 R5 ： 39人 ⇒ 53人（+14人）

待機児童対策について

●ソフト事業

【民間園への支援】　※法人園に対して直接補助

実施項目	実施内容
①宿舎借上げ支援事業費補助金（H29～）	園が宿舎として賃貸物件を借り上げた場合、賃料の一部を補助 R5 ： 10人 ⇒ R6 ： 15人（+5人）
②保育士確保インセンティブ交付金（R5～6）	採用1人につき20万円交付、さらに紹介手数料半額補助（上限50万円） R5 ： 7人 ⇒ R6 ： 56人（+49人）
③保育士等確保事業費補助金（R2～）	採用活動に係る経費に対し上限50万円を補助 R5 ： 8園 ⇒ R6 ： 8園（±0園）

待機児童対策について

●ソフト事業

【保育士ケア】　※保育士に対して実施

実施項目	実施内容
①メンタルヘルス相談 （R5～）	園で勤務する職員を対象とした臨床心理士との相談窓口の設置 個人相談　8件　　園訪問　2件
②管理職マネジメント研修 （R5～）	保育士定着の参加者　52名ための管理職員としての意識改善を学ぶ研修の実施
③保育ソーシャルワーカーの配置 （R6～）	養育環境等に課題のある家庭への保護者思念の充実と保育士の負担軽減を図る 対象児童4名／2園

待機児童対策について

●幼稚園の魅力向上の取組

実施項目	実施内容
1.幼稚園給食の提供開始 （令和7年4月から）	外部搬入給食 （食缶方式）
2.園職員体制の強化開始 （令和7年4月から）	全園に養護教諭または看護師、配膳員を配置
3.預かり保育の拡充 （令和7年4月から）	（A）長期休業中の実施日の拡充 長期休業のうちR6：63.0%開園⇒R7：82.2%開園 （B）施設利用給付認定者については、長期休業中も給付費内で利用できるよう、 また、認定者以外についても利用負担額を軽減するため、長期休業中の預かり保育料を減額 ※就労等により保育の必要性が認められ、施設等利用給付認定を受けた方

これらの取り組みにより、

地域型保育施設を卒園した園児等のうち25名が幼稚園への入園に繋がりました。

待機児童対策について

●ハード事業

待機児童解消に向け、受け皿の拡充を進めてきました。

【これまでの取組】

R3　小規模保育所　5か所の開設（定員合計95人）

　　守山幼稚園を認定こども園化（定員80人）

R4　洛和みずのさと保育園の開設（定員60人）

R6　よしみ乳児保育園の開設（定員55人）

　　小規模保育所　1か所の開設（定員19人）

待機児童対策について

●ハード事業

待機児童解消に向け、R7も以下の受け皿の拡充を進めています。

	洛和なごみ保育園	（仮称）認可保育園守山こども芸術大学
種別	小規模保育所	保育所
住所	守山市勝部一丁目16-1	守山市立入町251-1
運営法人	社会福祉法人洛和福祉会	学校法人瓜生山学園
定員	19人（0から2歳児）	90人（0から5歳児）
開所（予定）日	令和7年7月1日	令和8年4月1日

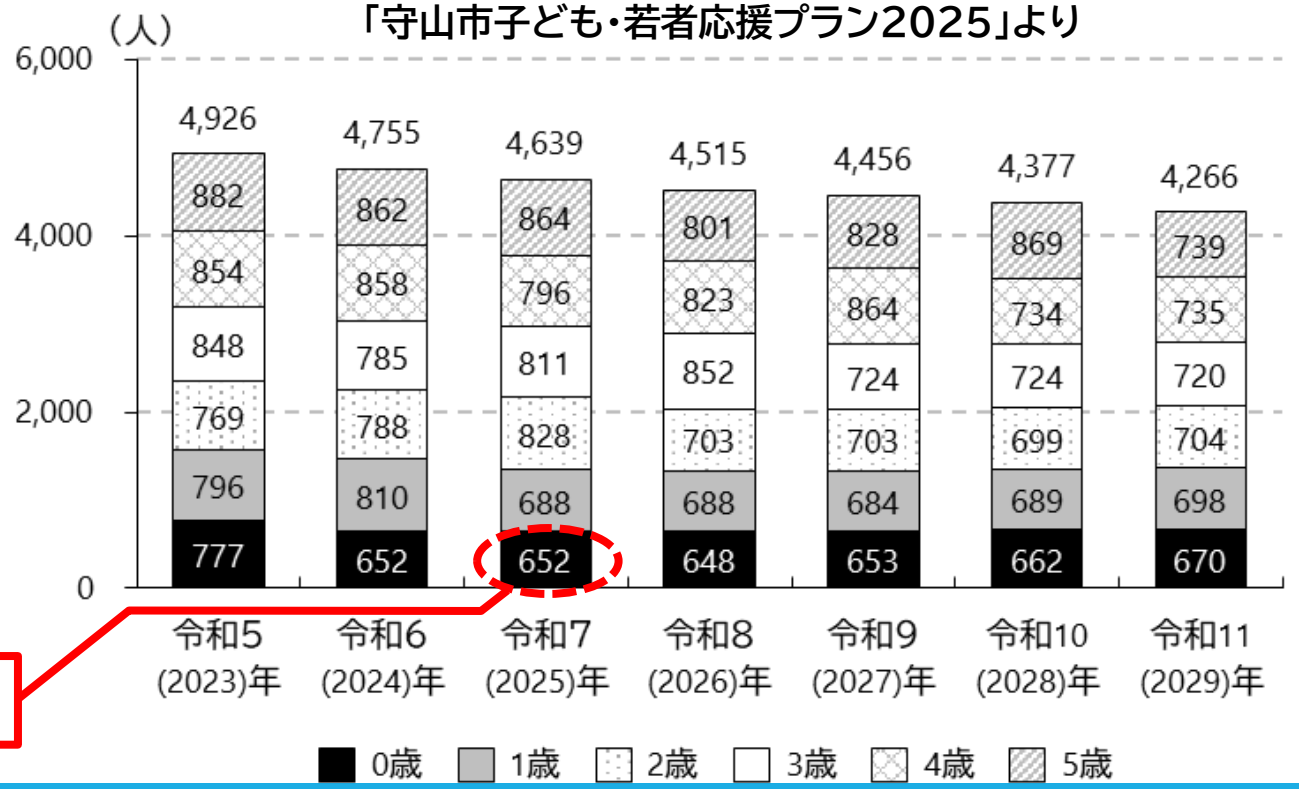
待機児童対策について

●今後の人口推計について

令和9年度に待機児童解消を目指していましたが、現在進めている2園の整備により、令和8年度以降は受け皿が確保できる見込みであることから、現時点で新たな受け皿整備は予定しておりません。

「もりやま手当」を始めとする効果的なソフト事業の継続により、保育士の確保・育成・定着化の取り組みを進め、保育ニーズに対応していきます。

図2　就学前人口・1歳年齢区分別人口推計
「守山市子ども・若者応援プラン2025」より



0歳児人口655人（令和7年3月31日実績）

令和7年度

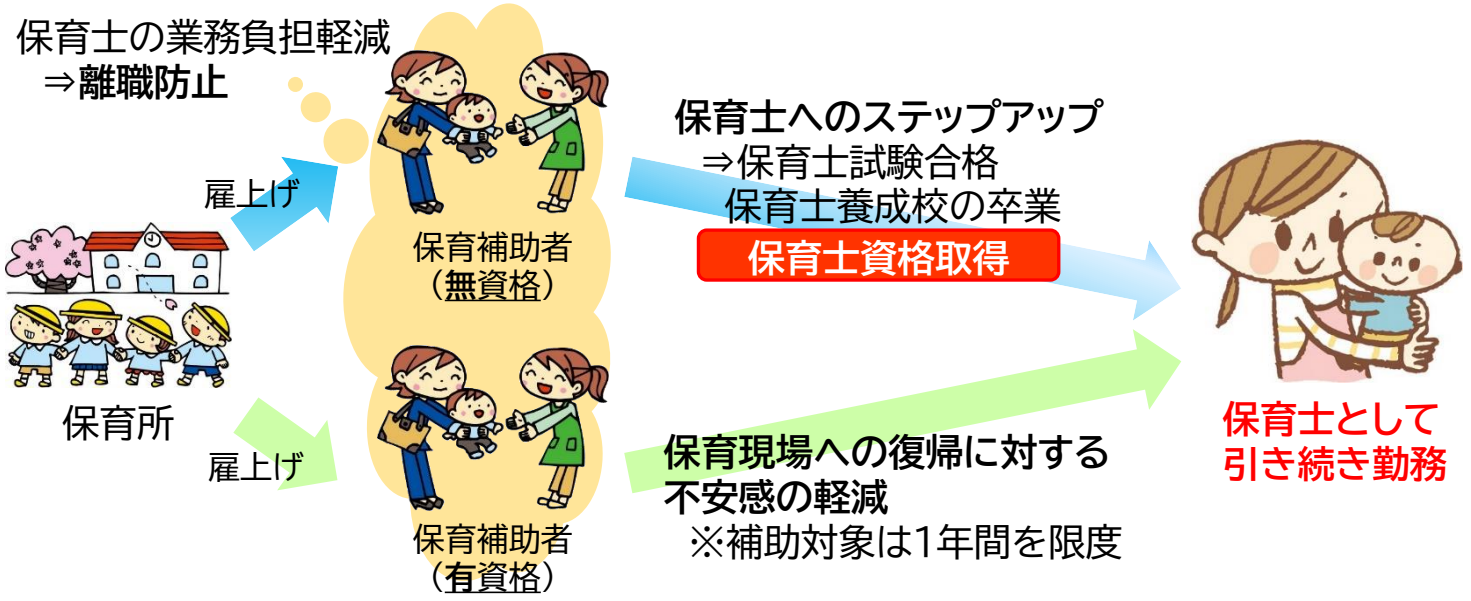
主な新規事業等の取り組み状況について

①保育補助者雇上強化事業補助金

〇補助目的
　保育士の補助をしてもらい、**保育士の業務負担の軽減**を図る。
　潜在保育士への再就職支援や資格取得後の就職までの流れを構築することで、**保育人材の確保**を目的とする。

〇補助対象人材
　①無資格（ただし40時間以上の保育実習済み）
　②有資格で復職を目指す潜在保育士

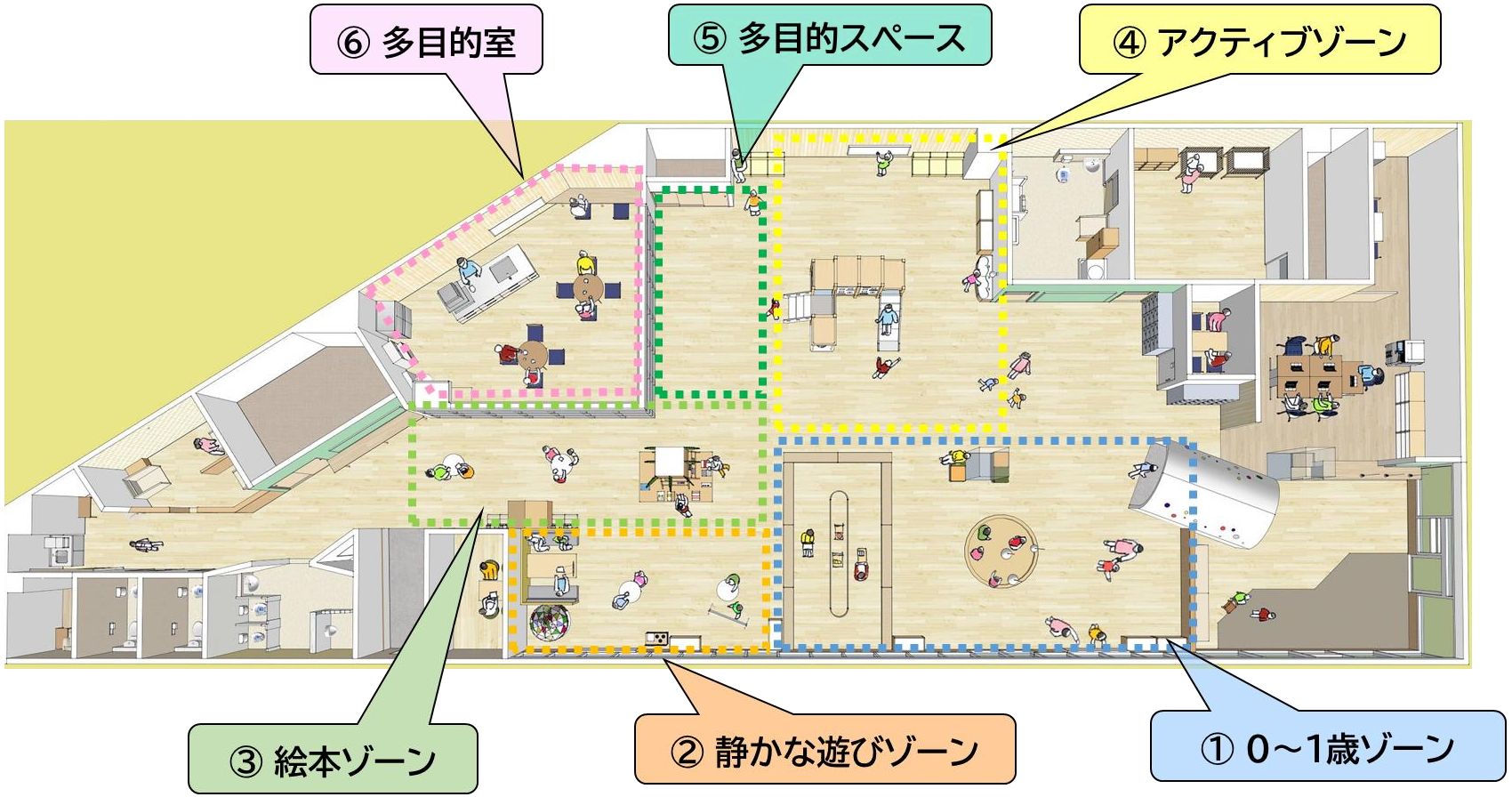
〇補助対象経費
　雇上げ事業に必要となる報酬、給料、手当、需用費、
　役務費、委託料、使用料、賃借料　他



補助基準（1園あたり）		利用定員	
		121人未満	121人以上
経験年数	3年未満	1,953千円	3,906千円
	3年以上7年未満	2,441千円	4,882千円
	7年以上	3,255千円	6,510千円

※有資格者への補助は1人につき1年間が限度

②守山市地域子育て支援拠点施設の整備



●所在地
（仮称）フレンドマート守山店2階
●延床面積
511㎡
●開設予定
令和7年11月下旬（予定）
●対象
市内在住・通勤の未就学児の親子、
子育てサークル等団体、小学生
●開館時間
午前9時30分から午後5時まで
●休館日
水曜日、休日の翌日、
12月29日から翌年1月3日まで
●指定管理者
株式会社セリオ

③小学生の放課後の居場所づくり事業

放課後児童健全育成事業を実施する中、特にさらなる保育ニーズの高まりを見込む守山市立玉津小学校および中洲小学校にて、その受け皿の確保策として、学校施設を活用した新たな放課後の居場所の設置・運営について、検討を行います。また、就労等にかかわらず児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場を提供するため、学校施設を活用した放課後の居場所の設置について、検討を行います。

【令和7年度実施内容】

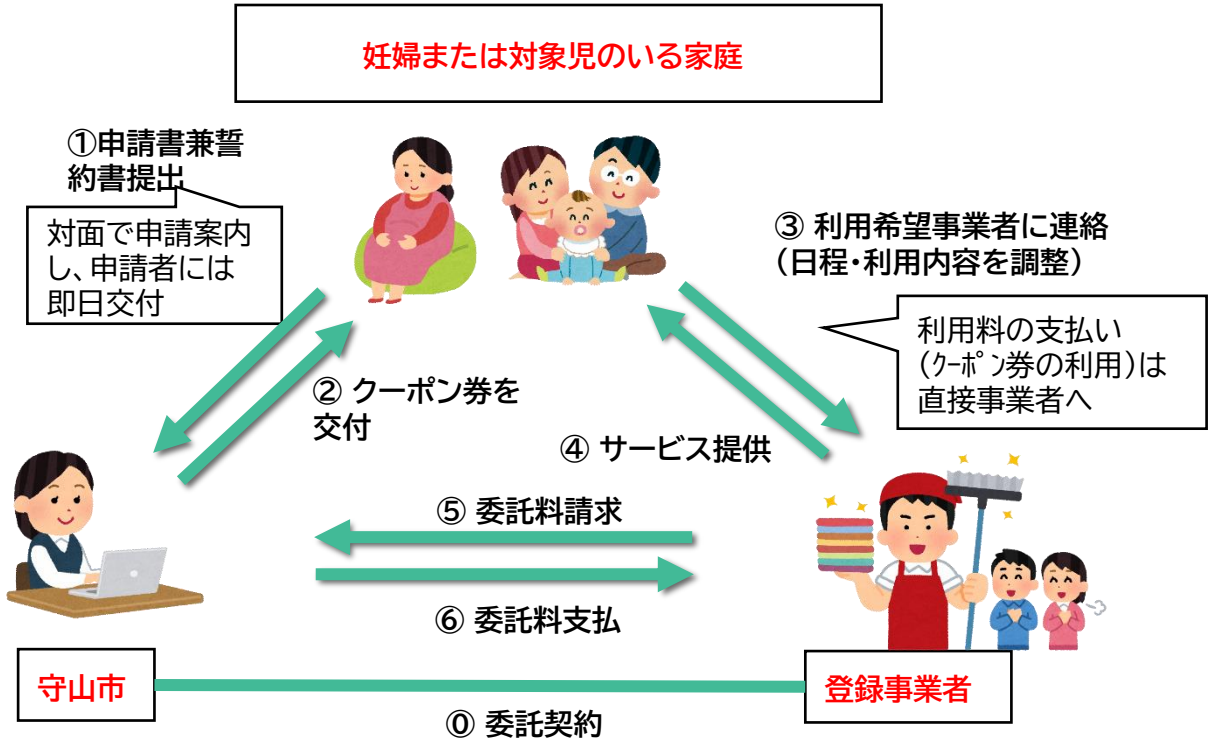
令和7年度は、2校（玉津小学校・中洲小学校）を対象に現状の分析、課題の把握、課題解決策を精査した上での環境面・運営面・管理面などを具体化した運営計画書の作成、および運営事業所の募集にむけた仕様書作成等について、高い専門性と豊富なノウハウを有する事業者と共に検討業務を行います。

④産前産後の子育て応援家事サポート事業

妊婦および1歳まで(多胎児は3歳まで)の児がいる家庭に対し、登録業者の家事サービスが利用できるクーポン券を2万円分(多胎児は最大6万円分)配付します。産前産後の家庭で家事サービスを利用されることにより、保護者の身体的・精神的負担の軽減と、親子が触れ合う時間の確保に努めます。

助成額・交付時期等(令和7年9月開始)

対象	助成額(クーポン券)	クーポン交付時期	クーポンの有効期限
妊婦	2万円分(1,000円×20枚)	妊娠届出時	出産予定日の4か月後の同日まで
児(単胎)	2万円分(1,000円×20枚)	新生児訪問時	1歳の誕生日前日まで
児(多胎児)	最大6万円分/児 (1,000円×最大60枚) ※令和5年度生まれ:2万円分/児 令和6年度生まれ:4万円分/児		3歳の誕生日前日まで



⑤その他

（新）小学生の放課後の居場所づくり事業　　7,700千円

ニーズが高い児童の放課後の居場所について、専門的な知識・ノウハウを活用するなか、放課後児童クラブにおける待機児童の解消につながるよう、学校施設を活用した新たな放課後の居場所づくりを検討します。

（拡充）こどもの居場所・学習支援事業　　3,700千円

居場所を必要とする子どもの生活向上のため、学習できる場所、安心できる場所、人とつながれる場所の提供を週2回程度行います。新たに夏休みなど長期休暇期間中において、北部地域をモデルとした事業を実施します。

（新）中高生の憩いの場「IKOI」実証実験事業　150千円

中高生サミット2024で提言のあった学びと遊びの共存する中高生の憩いの場

「IKOI」を学生自らが運営実施

期　　間：令和7年6月、10月予定

※1か月間の実証実験を2回実施

週2日（月・水）16時～19時

会　　場：市役所1F多目的ホール

（新）図書館集会室の開放　　1,502千円

土・日・祝、長期休みに図書館（本館・「本の森」）の集会室を、学習コーナーとして開放します！

期　　間：6月1日（日）開始予定

＊貸館の利用がない日のみ開放します。予約不要です。

場　　所：図書館（本館・「本の森」）1階集会室

⑤その他

教育支援ｾﾝﾀｰ
校内教育支援ｾﾝﾀｰ（SSR）の環境整備

【予算：3,746千円】

«教育支援ｾﾝﾀｰ»

追加の備品整備

«小中学校の校内教育支援ｾﾝﾀｰ»

各校の状況を踏まえ、

SSRへの更なる備品整備

やすらぎ支援員の配置拡充

【予算：11,132千円】

«小学校»

週3日 ⇒ **週5日に拡充**

（玉津・中洲除く）

«中学校»

守山南中に**1名追加配置**

こころの健康観察

【予算：校務系用端末・校務系支援ｼｽﾃﾑﾘｰｽに含む】

«1人1台端末の活用»

健康観察・教育相談 システム

ここタンの導入

児童生徒の心の状態を可視化し、早期のケア、適切な支援

ﾌﾘｰｽｸｰﾙ等利用児童生徒支援

【予算：3,000千円】

«認定事業者»

10者（1月末現在）

認定事業者の拡充を図り、家庭や学校以外での居場所づくり、学習機会の確保

⑤その他

【拡充】産後ケア事業　3,647千円

県内集合契約により利用可能施設を増やすとともに、実施医療機関に対しては多胎児加算などにより受け入れ体制を整え、産後ケアを必要とする全ての産婦が利用できる体制を整えます。

【新】1か月児健診　3,988千円

これまでの妊婦健診や産婦健診、新生児聴覚検査の助成に加え、1か月児健診を実施し、産前産後の切れ目のない支援を充実します。

【拡充】ひきこもり支援の充実　6,566千円

専任の相談員による相談体制を拡充（週3日→週5日）するなど、安心して相談できる体制を整備します。

【継】障害児通所サービス事業費　744,821千円

児童福祉法に基づく児童発達支援（43,700千円）や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付（686,500千円）を行い、発達支援や相談支援の充実を図ります。

守山市地域子育て支援拠点施設の愛称募集について

守山市地域子育て支援拠点施設の愛称募集について

【実施概要】

●募集期間　　令和7年6月1日(日)から6月30日(月)まで

●対象者　　市内在住、在勤、在学の方

●告知方法　　広報もりやま、守山市公式LINE、X、Instagram、市役所庁舎内掲示板、市内保育園、幼稚園、こども園、小学校に案内パンフレットを配布

募集結果

●応募総数　　237件

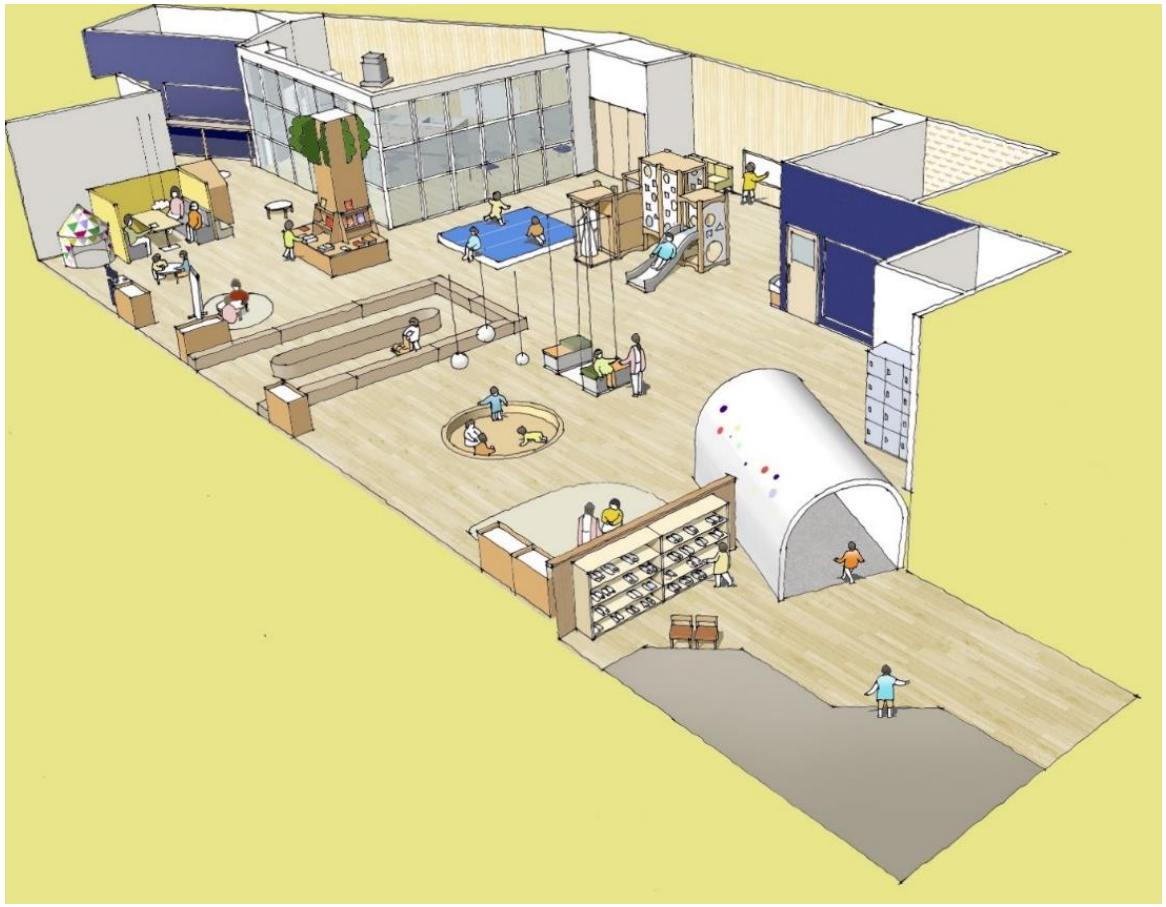
応募フォームより228件、直接窓口にて応募3件
郵送にて応募2件、メールにて応募4件

●選考方法

①こども政策課にて237件から7件まで選定
　商標権や既存のものではないかを確認後、
　施設のコンセプトや遊びのイメージ、親しみ
　やすい名称であることを基準に選定
②こども家庭部にて7件から3件まで選定
　職員投票により選定
③子ども・子育て会議（本会議）にて最終決定

●贈呈品

入選者には地元特産品を贈呈予定（1万円相当）
また、施設のオープンに合わせて贈呈式も予定



最終候補

愛称	WAKU × MORI	mamocco	AETANE
ふりがな	わくもり	まもっこ	あえたね
込められた思い	多様な人々が集い、「わくわく」する様な居場所を想像して命名しました。 「×」は多くの人々が行き来する（クロス）する意味が込められています。	まず、守山の「守」を使って地域感がある名称にしたいと思いました。 〇〇ひろば、〇〇ルーム、など地域にもたくさんありすぎて、名前を聞いたときに場所がピンとこないことも実体験としてあるので、商業施設のように名称を聞いてすぐ場所が分かる、覚えやすい名前にしたいと思いコレに決めました。 ロゴなども可愛いものができるのではないかなと感じています。	あそこに行けば皆んなに会える、だから行きたい、と思える場になる事を願って…